

人事評価シート(全職員共通 - 職員課提出用)

被評価者の属性等を記入すること

(様式1)

年度	職種	職位	第一評価者補職名氏名			第二評価者補職名氏名			調整評価者補職名氏名			所属	補職名	職員番号	氏名
17	事務	課長補佐	次長兼	課長	太郎				部長	次郎		部 課	課長補佐	12345	花子

<能力評価>

番号	評価要素	自己評価の理由 (基準日及び期末に本人記載)	基準日評価(確認印を押し)				最終評価(確認印を押し)								
			自己	第一	第二	調整	自己	第一	第二	調整					
1	理解力系 (知識理解力、分析力、洞察力)	後の計画を向こう5年作成したが、検討のめが甘かった。	B	A	B	90									
2	企画力系 (創意工夫、企画力、構想力)	職員の時間外が多かったが、最小の入数で最大の効果を得た。 自己評価の評価記号(評語)を付した理由を具体的な職務行動を例に挙げながら記入すること	B	A	B	90									
3	実行力系 (知識理解力、分析力、洞察力)	職員の立場を擁護しつつも国の動向や社会や市民の動きを察知し、いち早く改革に取り組んだ。	A	S	S	140									
4	表現力系 (応対表現力、コミュニケーション折衝力、渉外力)	部下との意思疎通が十分でなかった。 職位により指定された評価要素のみ選択して評価(記入)すること	B	A	A	100									
5	人材活用系 (指導力、育成力)	節目節目において部下を指導をしたことで、部下の目標は概ね達成できた。	A	A	A	100									
6	組織管理系 (監督力、統率力)	体調を崩し入院した部下を出してしまった。	C	C	C	60									
7	姿勢態度 (責任感、規律性)	として、その責任を自覚し職務遂行に努めてきた。	A	A	A	100									
8	チャレンジ意欲 (向上心)	自らが困難度の高い目標を設定し、役割を分担したことで、部下もその目標を達成するための主体的な行動が見られた。	A	A	A	100									
9	チームワーク (協力と協働)	省庁から講師を招くなど新たな人脈作りを行ったことで、部下職員が先方から積極的に情報を入手する取組が見られた。	A	A	A	100									
計	能力評価における第一評価者のコメント	仕事の質・量ともに相当量をこなしており、行動レベルは他の課長補佐職と比較しても高いレベルと評価。本人からマイナス要因の申告があり、次期の反省点としたい意向を踏まえ上記評価に決定したものを。 評価を決定した理由をコメントすること	印	印	印	印	印	印	印	印	印	印	印	印	印
			評価点数の和(A)	880	評価点数の和(A)	0									
			評価要素の数(B)	9	評価要素の数(B)	0									
			能力評価点(A)/(B)	97.8	能力評価点(A)/(B)	#DIV/0!									

<業績評価(目標管理の状況)>

目標番号	目標項目(何を)	目標水準(どこまで)	達成時期(いつまでに)	難易度(表1)	ウエイト	基準日達成状況(本人申告)	評価者		基準日評価	最終評価
							自己	第一		
最優先目標	システムによる職員能力の最大発揮基盤の形成	達成	平成17年3月	A4	40	マニュアルを策定するに当たってはインタビューの実施や意見募集を行い、また研修を実施したことで、職員の制度に対する関心は高まった。当初の予定どおり目標は達成できた。	自己	第一	A	
	平成17年度的全職員を対象とした制度の試行ができるように、マニュアルを策定する。制度を職員に理解してもらうために管理職を対象として研修を実施する。	達成	平成17年3月	A4	40	達成	自己	第一	A	
	達成時期(いつまでに)	平成17年3月								
優先目標	の適正化(の引き下げ、の見直し、の完全実施)	達成	平成16年12月	A2	20	の引き下げ、の見直しについては実施できなかったが、次年度以降の実現に向け目途を付けることができた。は完全実施できた。	自己	第一	B	
	社会経済情勢の変化によりの見直しが迫られている中で、の適正化(の引き下げ、の見直し、の完全実施)に向けた所要の策を的確にかつ迅速に実施する。	達成	平成16年12月	A2	20	達成	自己	第一	B	
	達成時期(いつまでに)	平成16年12月								
目標1	の確保(の設定、の検討)	達成	平成16年12月	A4	20	新たな確保策について、他市の状況等をまとめ、方向性についてのレポートをまとめたが、実施案の作成までには至らなかった。	自己	第一	B	
	若年者を対象とした硬化化したのあり方を見直し、多様化する行政需要に合わせ、確保策を実施案としてまとめる。	達成	平成16年12月	A4	20	達成	自己	第一	B	
	達成時期(いつまでに)	平成16年12月								
目標2	会の事業を社会経済情勢の変化と会員の見地から見直しを行う。	達成	平成16年11月	A2	20	事業の見直しを実施し、の有効性について検討案をまとめ、次年度の実施決定に導いた。	自己	第一	A	
	包括外部監査の報告に即した事業見直しを行うとともに、会のの有効性について結論を導く	達成	平成16年11月	A2	20	達成	自己	第一	A	
	達成時期(いつまでに)	平成16年11月								
目標3		評価を決定した理由をコメントすること	達成	平成			自己	第一		
			達成	平成			自己	第一		
	達成時期(いつまでに)	平成								
業績評価における第一評価者のコメント	対外交渉により結果が左右される中において、目標水準を下回る目標項目もあったが、次年度以降に結びつく成果を残せた点は、達成できた点と同様の効果があったものと評価している。また、部下の目標を達成させながら自らの目標を達成させている点も十分に評価できる。自己申告を妥当と判断した。					業績評価点(目標評価点の和)		100.8	0.0	